

No. 166  
平成29年11月  
発行 福島県鏡石町議会  
編集 議会広報編集委員会  
〒989-0407 福島県岩手郡鏡石町  
不時沼345  
電話0248(62)2110  
印刷 (株)永山印刷



## だいだい かがみい 太々神楽を奉納

10月1日(日)笠石熊野神社祭礼「太々神楽」が拜殿内で奉納されました。昭和22年に中断されていた太々神楽は、昭和51年に地元の青年達によって復活され、演目は「ぬさの舞」「つるぎの舞」「扇舞」「大黒舞」の4部構成となっています。(写真は「つるぎの舞」)

### 目次

第9回9月定例議会 … 2～5ページ  
一般質問 …… 6～11ページ  
審議の結果 …… 12・13ページ  
町民の声 …… 14ページ

## 町民の声

# 鳥見山野球場の管理に疑問



たき た かなめ  
滝 田 要 さん

鳥見山野球場の非常に小さな管理が目につきます。グラウンド周囲のフェンスの支柱からの金網が落下している箇所があり、非常に危険な状態です。ここ数年落下箇所が拡大しています。また、バックスクリーンも使用していないようですが、修復する予定がないのであれば、全撤去したほうが良いのではないのでしょうか。



フェンス金網の落下状況

グラウンドの状態も非常に悪いです。土を入れるなど、試合中にイレギュラーしないグラウンドに整備していただきたいと思っています。バックネット裏の空き缶の

私も使用するときなどは、フェンスの落下個所を見つけてきました。結果バンドなどで補修するものなのでしょうか。

鏡田区 滝田 要

放置、一斗缶でのタバコの吸い殻の放置、雑草の伸び放題の状況など公民館の施設担当職員の管理が行き届いていないのか疑問を感じます。担当者として、まずは、他人任せではなく自分の足で現場に行つて目で確認し、改善していただきたいと思っています。

町内外から利用者が多数来ていると思います。子ども達(中学生も含む)が怪我した場合、(フェンス落下個所で)自己責任なのでしょうか。利用者が気持ち良く利用できる鳥見山野球場にしてもらいたいです。公民館職員の皆様、施設管理を利用率で評価するのではなく、利用者側に立って施設管理をしっかりとやっていたいただきたいと願っています。



バックネット裏の管理



産業厚生常任委員会・成田浄水場改修工事



総務文教常任委員会・中学校防球ネット設置工事

## 新構成委員による 各常任委員会開催

今回改選された、各常任委員会委員により、第1回の委員会が9月7日に開催され、所管事務調査として、町内の工事箇所を現地調査しました。

## 編集後記

9月定例議会において、平成28年度一般会計・特別会計決算が提出され、それぞれの審議を行い、認定したことをご報告いたします。議会広報の役割は、町民の皆様のパートナーとして、公平公正な信頼感の持てる情報提供をすることであると考えます。今まで以上に、身近で実感が得られるよう、分かり易さを心がけ、話題と笑顔が提供できる取り組み、親しまれる議会広報を目指します。今後ともご愛読をお願い申し上げます。

発行責任者  
議長 渡辺 定己

- 広報編集委員会
- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 小林 政次 |
| 副委員長 | 木原 秀男 |
| 委員   | 古川 文雄 |
| 委員   | 菊地 洋  |
| 委員   | 長田 守弘 |
| 委員   | 畑 幸一  |

9月  
定例会

# 28年度各会計決算を認定

## 決算総額九八億一千万円 二億円の黒字決算

平成29年9月（第9回）定例会は、9月4日から15日までの12日間にわたって開かれました。

平成28年度の一般会計及び各特別会計決算認定については、決算審査特別委員会が設置され3日間の審議を経て、全会計を全会一致で決算書のとおり認定しました。

決算総額は、98億1千万円となり、2億円の黒字決算となりました。また、その他の議案等については、財政健全化法に基づく報告1件、教育委員及び固定資産評価審査委員会委員の選任同意、特別功労表彰の同意、条例改正1件、工事請負契約の締結2件、平成29年度補正予算9件、そして上水道事業会計剰余金の処分1件等の全18議案が上程され、いずれも可決承認しました。このうち、一般会計補正予算に対する議員発議による修正動議が提出されましたが、否決になりました。



### 特別委員会で審査

平成28年度の各会計決算認定については、9月4日の本会議において、決算審査特別委員会（小林政次委員長外9名）が設置され、町長から提出された決算に係る関係書類に基づき、9月8日から3日間の審査を行いました。

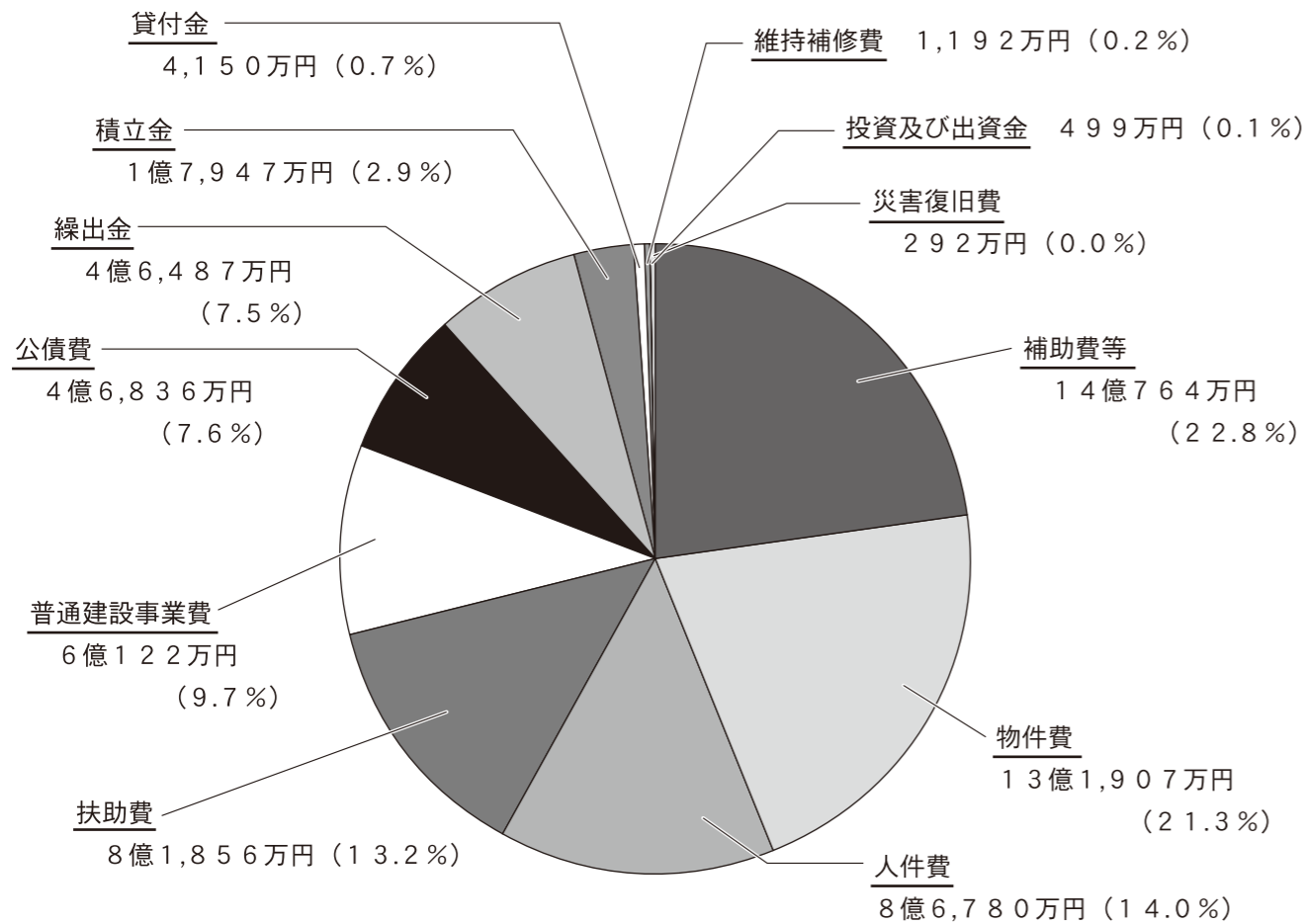
各会計決算の主な内訳や町債残高の状況、主要な財政指数及び財政健全化判断比率の報告を受け、各課各事業の内容等の説明の後、質疑回答方式により審議しました。

小林委員長のもとでの3日間にわたる審査を経て、9月12日、特別委員会における最終審査において採決を行い、その結果を9月15日の本会議において「全会計において承認すべき」との委員長報告があり、決算書のとおり認定することとしました。



## 一般会計決算 61億8,832万円の内訳

( )は構成比



### 町債残高の推移

(単位：万円)

	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	増	減	増	減	増	減
普通会計	504,978	3,935	516,779	11,801	526,462	9,683
特別会計	395,296	△6,825	389,000	△6,296	379,932	△9,068
合計	900,274	△2,890	905,779	5,505	906,394	615

\* 普通会計は、一般会計、区画整理特別会計。特別会計は、公共下水道、農業集落排水事業特別会計。

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	形式収支	実質収支
一般会計	6,307,970	6,188,318	119,652	106,987
国民健康保険特別会計	1,705,802	1,634,882	70,920	70,920
後期高齢者医療特別会計	97,005	96,887	118	118
介護保険特別会計	930,768	914,047	16,721	16,721
土地取得事業特別会計	30,054	30,000	54	54
工業団地事業特別会計	47,362	46,653	709	709
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	159,734	150,813	8,921	589
育英資金貸付費特別会計	6,164	6,144	20	20
公共下水道事業特別会計	460,621	456,702	3,919	3,619
農業集落排水事業特別会計	65,031	64,329	702	702
小計	9,810,511	9,588,775	221,736	200,439
上水道事業会計	収益的	260,818	213,298	47,520

\* 実質収支とは、歳入歳出差引額（形式収支）から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した決算額です。

# 常任委員会、議会運営委員会の構成

総務文教常任委員長 木原秀男氏  
 産業厚生常任委員長 古川文雄氏  
 議会運営委員長 長田守弘氏



総務文教常任委員会

産業厚生常任委員会

議会運営委員会

委員 渡辺定己 委員 井土川好高 委員 畑幸一 委員 吉田孝司 副委員長 菊地洋 委員長 木原秀男  
 委員 今泉文克 委員 大河原正雄 委員 橋本喜一 委員 小林政次 副委員長 長田守弘 委員長 古川文雄  
 委員 木原秀男 委員 畑幸一 委員 古川文雄 委員 小林政次 副委員長 菊地洋 委員長 長田守弘

## 議会懇話会

9月定例会では、任期満了(任期2年)に伴う各常任委員会委員の改選があり、各常任委員会委員及び議会運営委員会委員については、議長から指名されました。各常任委員会及び議会運営委員会の正副委員長については、それぞれ指名推薦や選挙によって選任されました。結果は上記のとおりです。  
 また、議員の親睦を図る議会懇話会の総会は8月21日に議会会議室で開かれ、次のとおり役員が選出されました。

会長 橋本喜一  
 副会長 長田守弘  
 理事 吉田孝司  
 監事 古川文雄  
 畑幸一



# 執行側、議会、町民が一体となり 「輝かしい鏡石町」実現に向け邁進を

## 監査委員の決算審査・財政健全化審査意見(要約)

○審査に付された一般会計、特別会計及び水道事業会計の歳入歳出決算書・歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は法令に準拠して作成されており、決算計数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りがないものと認められた。また、各基金の運用状況を示す書類の計数についても、関係諸帳簿及び証拠書類と符合しており、誤りのないものと認められた。

○平成28年度の自主財源構成割合は36・9%であり前年度比1・4%低下した。依然として依存財源に頼る構造となっている。町税をはじめとした滞納額が多額であり、比率の低下を招いていることが一因として挙げられる。「鏡石町第5次総合計画」の「新時代の行財政運営」の中でも「自主財源を安定的に確保することが必要」とし、その重要性を訴えている。財政の健全化を図るためにも重要な課題であり、弛みない改善努力を要する。

○財政力指数は財政運営の状況が健全であるか否かを判断する指標である。基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値である。平成28年度において僅かであるが改善された。しかし、依然として普通交付税に依存する割合が高いことを示している。

○経常収支比率は、地方税や普通交付税などの「経常一般財源」(毎年度継続し入る使途自由な収入)がどの程度の割合で毎年度継続して固定的に支出される経費(経常経費充当一般財源)に充当されているかをみる比率である。財政構造の弾力性を判断するための重要な指標である。当年度は84・6%であった。70〜80%が適正水準とされている。水準に近づきつつある。今後の改善施策に期待したい。

○以上、平成28年度決算について概要を示し意見を記した。震災からの復興を果たし、将来を見据えた本格的な行政が進められている状況の中の決算結果である。

当年度の日本経済は、英国のEU離脱問題、米国の大統領選等の影響を受けたものの、企業の生産活動、輸出の持ち直しにより総じて緩やかな景気の回復がみられた。

当福島県においても、日本銀行福島支店の日銀短観では「県内景気は一部に弱めの動きがみられるものの、基調としては緩やかに回復している」とし、先行きについても「良好な雇用、所得環境が続く下で、個人消費や生産が改善するにつれて、県内景気も緩やかな回復を続けるものとみられる。」と期待できる見解がなされている。当町財政への良い影響を及ぼすような景気回復を期待したい。

先般、「鏡石町第5次総合計画(後期基本計画)」が策定され新たなスタートを切った。充実した内容の計画である。執行側、議会、町民が一体となり「輝かしい鏡石町」実現に向け邁進することを願う審査意見とする。

代表監査委員 根本次男  
 監査委員 木原秀男

## 主要財政分析指標

(単位：%)

	平成27年度	平成28年度
財政力指数	0.53	0.55
経常収支比率	82.5	84.6

## 財政健全化判断比率

(単位：%)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	早期健全化基準
実質赤字比率	—	—	—	15.0
連結実質赤字比率	—	—	—	20.0
実質公債費比率	13.9	12.2	10.0	25.0
将来負担比率	29.4	27.2	27.3	350.0



吉田孝司議員

- 鏡石町における都市計画について
- 鏡石町における大学誘致について
- 鏡石町における学校教育について
- 鏡石町における町社会福祉協議会について
- 鏡石町における保育所民営化計画について
- 鏡石町における保健福祉活動について

一般質問

一般質問



一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動です。町政全般にわたって執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。

議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。

質問する議員は、執行当局に事前通告します。本会議場での持ち時間は1人40分間で答弁の時間は含みません。一般質問の要旨を掲載しました。(1人1ページ)

なお、今議会の登壇議員は5人でした。

五議員が町政を問う

ページ	質問者(登壇順)	質問事項
7	吉田孝司	① 鏡石町における都市計画について ② 鏡石町における大学誘致について ③ 鏡石町における学校教育について ④ 鏡石町における町社会福祉協議会について ⑤ 鏡石町における保育所民営化計画について ⑥ 鏡石町における保健福祉活動について
8	木原秀男	① 町の文化財保護とふれあいの森の運営について ② 太陽光発電について ③ 教育行政について。 ④ 新浄水場建設について
9	大河原正雄	① 鏡石の歴史と観光について ② 公共施設の維持管理について
10	今泉文克	① 「鏡石まちの駅」の収支、商品の確保、運営責任等について ② 鳥見山公園内の施設等の維持管理の考え方について ③ 「ふれあいの森」の利用促進について ④ 文化講演会の会場を、須賀川文化センターにした理由について
11	古川文雄	① いきいき学級の今後の活動と方向性について ② 町道の歩道の改良について ③ 老朽化した町施設の今後の方向性について ④ 農地維持に対する町の考え方は ⑤ 児童虐待の現状について

質問

第5次総合計画にも盛り込まれている鏡田・高久田地区における新たな住宅地の開発計画及び進捗状況を問う。

都市建設課長

平成6年10月14日に当該区域の市街化区域編入に併せて計画面積18・3haで、都市計画決定しておりますが、建築又は開発行為を規制・誘導し、良好な市街化の形成を図るもので、町が直接、面的整備を行うものではありません。

質問

町長は、福島大学農学系学類をわが町に誘致できなかった原因をどのように考えているか。

町長

誘致については、要望活動もわが町だけではなく、県内全域で行われてきましたが、学部の新設に伴う学校側の財政的負担の軽減を図るために現在の大学周辺に決定したと思えます。

質問

わが町の小中学校の特別支援学級の実態はどうなっているのか。

教育長

本町では、知的障害や自閉症・情緒障害の特別支援学級が小中学校に設置されており、現在、第一小学校が10名第二小学校で6名、中学校では1名の児童が在籍しており、児童生徒の特性等にに応じて基礎的な学習、通常学級の児童生徒との交流や共同学習なども行いながら、知識・技能・態度を身に付けられるよう指導方法を工夫し教育を進めております。

質問

町社会福祉協議会の位置づけや町当局との相互関係をどのように捉えているのか。

福祉こども課長

社会福祉協議会と町(行政)は、共に地域福祉を推進するパートナーであり、今後各ボランティア団体等の関係機関と連携を図りながら幅広い地域福祉活動に取り組んで参ります。

質問

保育所民営化のメリット及びデメリットはそれぞれ何か。

福祉こども課長

平成28年7月に「鏡石保育所民営化計画」を策定しました。メリットとしては、国・県・町からの負担金による財政面の安定的な運営と、その事により経験豊富な保育士の確保と保育サービスの質の向上があげられます。デメリットとしては、運営主体となる社会福祉協議会が保育所運営の経験がないため、ノウハウを蓄積するまでに時間がかかることがあげられます。

質問

介護保険事業や認知症対策など、高齢者福祉における保健師の役割とはどのようなものか。

質問



介護予防教室の一コマ

福祉こども課長

現在、地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みを行っておりますが、保健師にも様々な業務を担ってもらっております。介護予防事業としては運動教室や健康教室を企画、開催するなどのほか、認知症対策については、認知症初期集中チームの一員として認知症の疑いのある方の自宅を訪問し、本人・家族への支援等を行っております。



○ 鏡石の歴史と観光について  
町のシンボル岩瀬牧場の位置づけ  
○ 公共施設の維持管理について  
各種施設の老朽化に伴っての維持管理

大河原正雄議員

演

今、近隣市町村では、巨木古木の保存する動きが報じられているが、鏡石町の巨木古木はあるのか。



総務課長

町の木『しだれ桜』については、町のシンボルとして、昭和54年1月1日に町の花『あやめ』と一緒に制定されました。現在、主にグリーンロードや鳥見山公園などの公共施設へ植樹されており、今

関係を築いてきたところで、今後「他の自治体との交流促進」の実現が図れるよう検討して参ります。

質問

各種施設が老朽化しており、解体、廃止の必要な物もあると思うが、どの様な物が対象となるのか。

質問

町の数多くある施設の光熱水費が電気料金だけで1億円近くあり、東北電力だけであるが最近数社売電の実績があり、町は契約見直しによる経費節減を図ったことはあるか。また、他社に変更した方が安価になると思うがどう考えるか。

質問

電力の自由化は、平成12年の『大規模な工事などの高圧電力区分から始まり平成28年に家庭や商店などの低圧電力区分に拡大され、本格的な電力の小売り自由化となりました。これにより、多くの場合において単純に東北電力からの電力供給による料金よりも安価になることが予想されています。本町におきましての一部において電力の小売り会社との比較検討した経緯があり、東北電力よりも安価になった結果が出ております。また、近隣市町村でも自由化による電力会社の変更を行っている市町村もございまして、それらを参考に今後、電力の小売り自由化に取り組んで参りたいと考えております。

一般質問

一般質問

○ 町の文化財保護とふれあいの森の運営について  
○ 太陽光発電について  
○ 教育行政について  
○ 新浄水場建設について

木原秀男議員



小栗山観音堂、仁井田双式磨崖像の修復と天然記念物のケヤキは観光資源として考えられないか。

教育課長

文化財保護事業費補助金の対象で1/2の補助金を受けることが出来ます。また、ケヤキは樹齢500年を超える巨木で、ふれあいの森と組み合わせることで観光資源ルートを検討して参ります。

質問

ふれあいの森の環境整備と祝祭日等のバスの運行は考えられないか。

産業課長

現在、除染土壌の仮置場となっているキャンプサイトの再整備と併せて外のトイレの修復も検討して参りたい。

また、ふれあいの森の利用の約8割が土・日・祭日でマイカー利用の親子が占めており、バスの運行については町内観光周遊型で、今後、関係課・関係団体と共同して調査研究して参ります。

質問

太陽光発電の立地許可の手順（小規模）について問う。

都市建設課長

経済産業省から、事業計画認定を受ける必要があり、更に設置する場所及び規模により道路法等の関連する個別の法律や条例に基づき、許可を受ける必要があり、この手続きの後に、太陽光発電設備の施工となります。



太陽光発電

質問

沖縄県北谷町のスポーツ少年団や、青少年関係の来年の交流について問う。

教育課長

北谷町とは各種分野で友好

質問

中学校の南側の樹木の伐採について問う。

教育課長

駅東土地区画整理事業の宅地分譲が進み、安全対策のため校庭南側と東側に防球ネットを設置するためと倒木や木の落下の危険性を回避するために伐採をしました。

質問

新浄水場の建設について事業完了までの最終見積金額について問う。

上下水道課長

総事業費につきましては、水源地整備や道水管、配水管布設、新浄水場建設、調査設計、用地買収等含みまして、約50億円を計画しております。

質問

返済計画について問う。

上下水道課長

建設改良費に伴う企業債借入については、金利選択を固定金利方式として、償還を半年賦元利均等償還の30年（据置5年、その後償還25年）として第5次拡張事業を進めております。

質問

計画の変更はあり得るかを問う。

上下水道課長

安全・安心な水の供給や災害時にも安定的な給水を行うための施設水準の向上など、緊急時に適切に対処するためにも現計画を実施していくことが求められると考えられます。

町民の皆様にも、事業の必要性や持続性を示して行きたいと考えています。



古川文雄議員

- いきいき学級の今後の活動と方向性について
- 町道の歩道の改良について
- 老朽化した町施設の今後の方向性について
- 地維持に対する町の考え方は
- 児童虐待の現状について

一般質問

**質 問**  
加入者の増加と組織の活性化対策について伺う。

**教育長**  
平成29年度の加入者は75名募集定員百人に対して75%の加入率です。男女の構成比は女性69名、男性6名となっています。参考までに、毎回の学級生の参加率は約80%程度です。

**質 問**  
老朽化した町公共施設の今後の方向性について伺う。

**総務課長**  
集会場は27施設あり、昭和

**質 問**  
農地の維持、耕作放棄地の具体的な対策について伺う。

**産業課長**  
耕地面積は、平成28年は1,375haであり、年々減少しています。逆に荒廃農地は年々増加しており、平成28年は68haであり、対策が急務となっています。

**質 問**  
町としての防止策、被害軽減策について伺う。

**福祉こども課長**  
早期発見や適切な保護を図り関係機関との情報交換に努めるため、「鏡石町子どもを守る地域ネットワーク協議会」を設置しています。

**質 問**  
定員に対する加入率及び男女の構成比について伺う。

**教育長**  
いきいき学級は、寿学級の内容を引き継ぎ開催されました。テーマは、①趣味を生かした生きがいを求める学習 ②四季を通じての健康づくりの学習 ③歴史や文化を学ぶ学習 ④教養を高め高齢化社会を生きるための学習 などとなっています。

**質 問**  
今後の見通しについて伺う。

**都市建設課長**  
総延長46・7km、整備済は41・9kmと89・7%の整備率であります。

**質 問**  
町の農地の現状について伺う。

**健康環境課長**  
昭和37年建築された木造平屋建てで面積は428㎡です。現在、母子保健事業や健康づくり事業、原子力災害対策や若草教室などに継続して活用しています。当面は、修繕を実施しながら保全に努めて参ります。

**質 問**  
児童虐待の現状について伺う。

**産業課長**  
人・農地プランの策定により担い手への農地集積や集落営農法人化の受け皿づくりなどを推進します。また、農地再生プロジェクトによる、耕作放棄地への菜種やエゴマなど栽培し、「田んぼで油を採ろう」かがみいし油田計画」として、資源循環型の事業を推進して参ります。

一般質問

- 「鏡石まちの駅」の収支、商品の確保、運営責任等について
- 鳥見山公園内の施設等の維持管理の考え方について
- 「ふれあいの森」の利用促進について
- 文化講演会の会場を、須賀川文化センターにした理由について



今泉文克議員

**質 問**  
鏡石まちの駅設置事業の総事業費、その内容及び収支は確立されているのか。

**産業課長**  
総事業費は予算ベースで、1億9,800万円です。1階の事務所、駅待合室、売店の約290㎡を改修し、観光情報を提供する設備も導入します。

**質 問**  
町に大きな負担が生じると思うが、運営責任等について伺う。

**町長**  
町の駅は、地方創生の拠点であります。その為、再任用の職員も配置しています。運営には、収益の確保が必要ではありますが、継続できるように、随時運営方法を改善し、住民、来訪者に親しまれる施設にしたいと考えています。

**質 問**  
ふれあいの森は、ウォーキングコース、パーク・マレットゴルフ場などを整備し、公園としての認知度アップを図るべきと思うが、考えを伺う。

**産業課長**  
今後の施設整備については、森林の間伐、更新伐や管理道の整備を行い、多面的機能の維持向上や遊歩道等の活用を図ります。

**質 問**  
アヤマサミットの宿泊先が、町内でなく、須賀川市のホテルになった理由を伺う。

**総務課長**  
宿泊人数の調整、移動のスケジュール、宿泊費用の統一性を勘案し決定しました。なお、交流会の会場、特産品、お土産等は町内事業所等を利用しました。

**質 問**  
鏡石まちなか情報交流館「かんかん館」の総事業費及び休止の原因とJAとの貸借期間・違約金はどれくらいか伺う。

**産業課長**  
総事業費は、平成21～22年の2か年で、約1,277万円です。休止の原因は、平成23年に発生した東日本大震災によりJA鏡石支店が被災したためです。使用料は年12万円、1年ごとの契約でした。違約金は、ありません。

**質 問**  
商品の確保、アピール、販売は、確立できるのか、伺う。

**産業課長**  
商品確保については、各種団体の協力を得るとともに、町農産物の販売、特産品の販売、6次化商品の開発により、商品構成の確立を図っていきま

**質 問**  
緑づくりの拠点と位置づけています。今後も、町民に親しまれる公園として、あやめ園や花壇の整備に努めます。

**町長**  
鳥見山体育館は、34年が経過している中で、計画的な修繕をし、長寿命化に努めます。

**質 問**  
文化講演会の開催場所を須賀川文化センターにした理由と広域利用制度は確立されているのか、伺う。

**教育課長**  
当町内の体育館等が、震災時の天井落下により音響環境が芳しくない等の理由により、音響効果の優れた文化センターでの実施が望ましいと判断しました。また、広域利用制度は、まだ確立されていない現状です。

**質 問**  
「鏡石まちの駅」は、町民や県内外の来訪者が気軽に立ち寄れる「コミュニティカフェ」を設け、地域コミュニティの拠点と位置付けます。

**質 問**  
また、勤労者体育館は、老朽化している中で、再整備改築の考えはあるのか、伺う。

**町長**  
緑づくりの拠点と位置づけています。今後も、町民に親しまれる公園として、あやめ園や花壇の整備に努めます。

**質 問**  
また、勤労者体育館は、老朽化している中で、再整備改築の考えはあるのか、伺う。

**町長**  
緑づくりの拠点と位置づけています。今後も、町民に親しまれる公園として、あやめ園や花壇の整備に努めます。

**質 問**  
文化講演会の開催場所を須賀川文化センターにした理由と広域利用制度は確立されているのか、伺う。

**教育課長**  
当町内の体育館等が、震災時の天井落下により音響環境が芳しくない等の理由により、音響効果の優れた文化センターでの実施が望ましいと判断しました。また、広域利用制度は、まだ確立されていない現状です。

**質 問**  
文化講演会の開催場所を須賀川文化センターにした理由と広域利用制度は確立されているのか、伺う。

**教育課長**  
当町内の体育館等が、震災時の天井落下により音響環境が芳しくない等の理由により、音響効果の優れた文化センターでの実施が望ましいと判断しました。また、広域利用制度は、まだ確立されていない現状です。



第9回定例会 審議の結果

※29年9月定例会議案（報告等含む）23件  
 （認定1件、条例改正1件、補正予算9件、委員同意2件、陳情1件、議員発議2件、その他7件）

議案等番号	議案件名及び概要等	議案等番号	議案件名及び概要等
議案第140号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて (藤島絵美氏の委員任命同意)	議案第149号	平成29年度介護保険特別会計補正予算(第1号) 28年度事業確定による繰越金等26,493千円の増額補正
議案第141号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて (吉田悦郎氏、関根英司氏の再任同意)	議案第150号	平成29年度工業団地事業特別会計補正予算(第1号) 28年度事業確定による繰越金等200千円の増額補正
議案第142号	特別功労表彰につき同意を求めることについて (町制施行55周年記念式典の席上において、町表彰条例の規定に基づき、特別功労表彰するための同意を求めるもの。対象者4名)	議案第151号	平成29年度鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号) 29年度国庫補助事業費確定による事業箇所変更等12,199千円の増額補正
議案第143号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について (育児休業法改正に伴う、育児休業の対象となる職員の改正)	議案第152号	平成29年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1号) 28年度事業確定による繰越金3,617千円の増額補正
議案第144号	平成28年度鏡石町上水道事業会計未処分利益剰余金の処分について (35,000千円を積立するもの)	議案第153号	平成29年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) 28年度事業確定による繰越金700千円の増額補正
議案第145号	鏡石町民プール機械設備改修工事請負契約の締結について 契約金額 135,776,520円 契約相手 株式会社 石田工業所	議案第154号	平成29年度上水道事業会計補正予算(第1号) 国道4号拡幅関連水道施設移転補償関連で4,050千円の補正増
認定第3号	平成28年度鏡石町各会計歳入歳出決算の認定について 平成28年度一般会計外10会計決算の認定	発議第20号	全国森林環境税の創設に関する意見書の提出について 全国森林環境税の創設を求める意見書の提出
発議第21号	議案第146号平成29年度一般会計補正予算(第2号)に対する修正動議 (吉田議員よりコミュニティセンター改修工事費35,000千円の減額修正案提出)	陳情第13号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出の陳情 地方財政の充実・強化を求める陳情
議案第146号	平成29年度一般会計補正予算(第2号) (コミュニティセンター改修工事35,000千円増、交付金事業費確定による道路新設改良費の増18,895千円などによる129,569千円を増額)	議案第155号	鏡石まちの駅設置工事請負契約の締結について 契約金額 87,372,000円 契約相手 株式会社 渡辺建設 鏡石支店
議案第147号	平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 28年度事業確定による繰越金等79,013千円の増額補正	決議案第6号	議会改革特別委員会設置に関する決議 議会改革特別委員会設置し議会基本条例の制定などを調査研究する
議案第148号	平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 28年度事業確定による繰越金117千円の増額補正	意見書案第10号	北朝鮮の弾道ミサイル発射及び核実験の強行に対し重ねて厳重に抗議を求める意見書の提出
		意見書案第11号	地方財政の充実・強化を求める意見書(案) 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出

\*「○」賛成 「×」反対 「欠」欠席 「-」渡辺定己議長は採決に加わらない

議案・報告等	結果	小林政次	吉田孝司	橋本喜一	古川文雄	菊地洋	長田守弘	畑幸一	井土川好高	大河原正雄	今泉文克	木原秀男	渡辺定己
議案第140号	同意	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議案第141号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第142号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	退席	-
議案第143号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第144号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第145号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定第3号	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-
発議第21号	否決	×	○	×	×	×	×	×	×	欠	○	×	-
議案第146号	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	-
議案第147号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-
議案第148号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-
議案第149号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-
議案第150号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-
議案第151号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-
議案第152号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-
議案第153号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-
議案第154号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-
発議第20号	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-
陳情第13号	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-
議案第155号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-
決議案第6号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-
意見書案第10号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-
意見書案第11号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-